

寺報第十四号をお届けします。

去る5月6日に、かねてよりお知らせしていましたが、「正徳寺永代墓(えいたいぼ)」の増設完成法要が、永代経法要とともにとり行なわれましました。

今回は、その「正徳寺永代墓」の墓碑にある「俱会一処(くえいっしょよ)」という言葉についてお話しいと思います。

「俱会一処(くえいっしょよ)」とは、「すべての人が極楽浄土に生まれ会いつつどう」という意味です。

永代墓というのは、もう後を見てくれる人のいなくなってしまう方を、お寺とご門徒の皆さんで手を合わせていくお墓です。これは他人事ではなく、私たちも何世代かあとの子孫には覚えてもらえないかもしれません。だれも手を合わせてさえくれなくなってしまうかもしれないです。

そのような中、このお墓は、正徳寺にご縁のあった全てのかたが、必ず浄土に生まれ互いに手を合わせあうとても貴重な場所です。その意味を込めて、この「俱会一処」という語を選びました。

浄土真宗の宗祖である親鸞聖人は、お念仏を称えることがそのまま、すべての人が平等に救われていく道であると伝えてこられました。

ほかの宗派ですと、仏となり救われていくためには、厳しい修行をしなければならぬかもしれません。しかし親鸞聖人は『歎異抄』のなかで、「地獄が一定すみかぞかし」と親鸞聖人自身がどんなに修行しても救われない、地獄に落ちるような身であると懺悔しておいでです。たとえ地獄に落ちるような人でも、お念仏の道がすべての人を同じく平等に苦しみのない清らかな世界(極楽浄土)に導いてくれるとおっしゃっているのです。

お念仏を通して、すべての人が浄土

に生まれあい手を合わせあう世界があるとということです。

ここに至って、すべての人が死してからも平等になれたのです。

私たちは、多くの先人の偉業のもと、いまの生活が送れています。名前も知らない先祖や、その先祖たちが大切にしてきた日本という国。そして、そのなかでお念仏という平等に救われる教えを大事にしてこられた門徒の皆さま。これらの方達の人生のすべてのうえに、私たちがこうしていまバトンを渡され平和な生活が送られています。永代墓をはじめすべてのお墓はそういう方々、すべてに感謝し手を合わせられるコミュニケーションなのです。



永代墓の文字  
「俱会一処」

お盆の提灯について

今年もお盆の季節が近づいてきました。

東京は新暦の、地方では旧暦の七月十五日に行います。

正徳寺では、毎年七月十三日にお墓の提灯に火を灯します。お寺の提灯は、例年午後三時ころにはなくなってしまうので、お求めの方は早めにいらしてください。また、電話での取り置きはしておりませんので、ご了承ください。

お盆の意味は、亡き人の恩を思い、未来に向けてここを新ためる行事です。父母祖母の恩を思い、心機一転のこり半年を過ごしていきましょう。

★お盆 七月十三日（月）～十六日（木）

ご希望のお宅にはお説き参り（ご自宅のお仏壇でお経をあげる）に伺いますので、ご希望の方はお早目にお申し出ください。お待ちしております。

★こども囲碁道場

七月 四日（土）二時より



★インターネットでも、不定期に行事やイベントの予定をお伝えしています。

・住職ツイッター @syaku\_rikun

・正徳寺ホームページ

Facebook 真宗大谷派日夜山正徳寺

▼ご法事をおつとめになる方は

(1) まず寺に都合をお問い合わせください。

とくに土曜日・日曜日などは混み合いますので、お早めにご連絡ください。

(2) ご法事参加の人数を、ご法事の  
一週間前までにお知らせください。

お願い…お葬儀をおつとめになる方は、日程が決まる前にお寺にご連絡ください。他の方のお約束が入っており、先に決められた日程ではお受けできない場合がございます。よろしくお願いたします。

★声明会（お経の練習会）

毎月最終土曜日 午後三時～四時半  
要予約（急な法務等で変更あり）

参加費 500円/回

稽古本「真宗大谷派勤行集」（赤本）

450円

次回は 七月二十五日（土）

八月二十九日（土）

ご参加される方は、前もってご連絡ください。

電話 03 (3471) 3938

[shoutoku-ji@opal.dti.ne.jp](mailto:shoutoku-ji@opal.dti.ne.jp)

■当寺の宗旨は 眞宗大谷派です。

■ご本尊は阿弥陀如来です。

■宗祖は親鸞聖人です。

■京都駅前通りの烏丸七条にある

眞宗本廟（東本願寺）を本山とします。

■教えの要点は、

阿弥陀如来のすべての人を救うという

ご本願を信じて、南無阿弥陀仏と称えて、

感謝報恩の生活をおくることにあります。